

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技
【結果速報】

試合 M06 2回戦

【2025/8/17】

| | | | | | | | | | |
|--------|----|---|---|-----|---|---|---|-------|--|
| | | | | | | | | | |
| 明治大学中野 | 10 | [| 2 | - | 1 |] | 9 | 神奈川工業 | |
| | | | 3 | - | 2 | | | | |
| | | | 0 | - | 2 | | | | |
| | | | 1 | - | 1 | | | | |
| | | | 4 | PSO | 3 | | | | |

審判1 吉田涼吾
審判2 城之下智喜

| No. | Name | 被シュート数 | 失点 | セーブ率 |
|------|-------|--------|----|------|
| GK1 | 横山 志侑 | | | |
| GK13 | 上山 拓士 | 22 | 6 | 50% |

| No. | Name | 被シュート数 | 失点 | セーブ率 |
|------|-------|--------|----|------|
| GK1 | 中田 佳劫 | 0 | 0 | |
| GK13 | 中林 樹利 | 23 | 6 | 40% |

| No. | Name | シュート数 | 得点 | PF数 |
|------|-------|-------|----|-----|
| GK1 | 横山 志侑 | | | |
| 2 | 武田 琉大 | 11 | 3 | 1 |
| 3 | 中野 志大 | 2 | | 2 |
| 4 | 上柿 晴大 | | | |
| 5 | 吉岡 駿 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 鈴木 璃久 | 3 | 1 | 1 |
| 7 | 伊藤 佳大 | 2 | | 2 |
| 8 | 一宮 絆輝 | | | |
| 9 | 杉野 一心 | 1 | | |
| 10 | 上田 琉誠 | | | |
| 11 | 篠崎 友宏 | | | |
| 12 | 福井 侑馬 | 1 | | 2 |
| GK13 | 上山 拓士 | | | |

| No. | Name | シュート数 | 得点 | PF数 |
|------|--------|-------|----|-----|
| GK1 | 中田 佳劫 | | | |
| 2 | 池田 蒼梧 | 5 | 1 | 1 |
| 3 | 矢邊 大誠 | 3 | 1 | 1 |
| 4 | 高橋 慧 | | | |
| 5 | 三宮 時和 | 1 | | |
| 6 | 久保田 梗友 | 1 | 1 | |
| 7 | 高岡 大知 | 4 | | |
| 8 | 岡田 耀 | | | |
| 9 | 吉田 怜敏 | 2 | | 3 |
| 10 | 仁木 駿希 | 4 | 2 | |
| 11 | 有田 光希 | 2 | 1 | 1 |
| 12 | 黒田 地恩 | | | |
| GK13 | 中林 樹利 | | | 1 |

R7 インハイ水球 Web サイト

<https://j-waterpolo.net/25Yamaguchi/index.html>



令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和7年8月17日（日）
会場：山口きらら博記念公園水泳プール

ゲームNo. 6

帽子的色 白

帽子的色 青

明大中野

10

| | | |
|---|-----|---|
| 2 | - | 1 |
| 3 | - | 2 |
| 0 | - | 2 |
| 1 | - | 1 |
| 4 | PSO | 3 |

神奈川工業

9

審判1：吉田 涼吾
審判2：城之下 智喜

戦評

令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会（水球）兼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）、山口県きららプールで行われたゲーム6は、関東を代表する強豪同士、明治大学付属中野高等学校（白帽）と神奈川工業高等学校（青帽）の一戦となった。両校は予選段階から互いを知り尽くしたライバル関係にあり、接戦必至と見られていたカード。大会初日の最終試合という舞台も相まって、会場は熱気に包まれた。

第1ピリオドは、先に流れをつかんだのは神奈川工業。⑩仁木が鋭いカウンターからゴールを決めて試合を動かす。その後も積極的にシュートを放つが、明大中野の守護神⑬上山が好セーブを見せ、追加点を許さない。すると徐々に明大中野が盛り返し、⑥鈴木が相手ディフェンスを崩して得点、さらに②武田が3-2の速攻を沈めて逆転に成功。2-1と明大中野が僅差ながらリードして最初のピリオドを終えた。

続く第2ピリオドは明大中野が主導権を握る。開始直後、⑥鈴木がゴール前でペナルティを獲得し、②武田が冷静に沈めて追加点。さらに武田が相手をかわして自ら得点するなど、エースらしい活躍を見せた。一方で神奈川工業も粘りを見せ、③矢通が退水を誘発し自らシュートを決める。終盤には②池田がタップシュートを押し込み、食らいついたものの、⑤吉岡に追加点を奪われ、前半終了時点で5-3と明大中野が2点のリードを保った。前半はGK上山の堅守も光り、チームを後方から支える形となった。

試合の流れが変わったのは第3ピリオドである。神奈川工業は⑤三宮の退水獲得から⑥久保田が冷静に決めると、終了間際には⑪有田がミドルシュートを突き刺し、スコアを5-5の同点に。対する明大中野は攻め手を欠き、このピリオド無得点。さらに主将の②武田が目の上を負傷してベンチに下がり、残された1・2年生の奮起が求められる苦しい展開となった。最終ピリオドは一進一退の攻防。神奈川工業は4:43に②池田が退水を誘発し、⑩仁木がミドルを沈めてこの試合初めてリードを奪う。勢いに乗りたいたいところだったが、GK上山が再三の好セーブで流れを渡さない。明大中野は2分を切った場面で⑤吉岡が左サイドから豪快に決め、同点に追いつく。結局、両者とも最後まで決定打を欠き、試合は6-6のままペナルティシュート戦へ突入した。

PSOでは互いに譲らぬ展開。先攻神奈川工業、後攻明大中野ともに3人目まで全員が決め、勝負は4人目以降に持ち越された。ここで神奈川工業の④高橋、明大中野の⑭福井がともに失敗。均衡が崩れぬまま迎えた5人目、神奈川工業のエース②池田のシュートをGK上山が渾身のセーブで止めると、直後に⑤吉岡が冷静に沈め、死闘に終止符を打った。最終スコアは10-9（PSO）、明大中野が接戦を制した。

試合を振り返ると、神奈川工業は攻撃のバリエーションが豊富で、カウンター、ミドル、ペナルティ獲得と多彩な攻めを見せたが、ここの一番でGK上山に阻まれる場面が多かったことが痛手となった。対する明大中野は②武田の負傷というアクシデントに見舞われながらも、⑥鈴木や⑤吉岡ら下級生が踏ん張り、最後は守護神上山の存在が勝敗を分けた。この試合は、互いの戦術と個人技がぶつかり合い、わずかなプレー精度の差が勝負を決するという全国大会らしい緊迫感が満ちていた。会場を沸かせた両校の奮闘に大きな拍手を送りたい。

記録者 伊藤・加藤・菅原